

第 20 号

発行 JA吉田総合病院

広島県安芸高田市吉田町吉田3666
TEL (0826) 42-0636
FAX (0826) 47-0007

あおぞら

春号

吉田総合病院

青空

■ホームページ <http://www.hirokouren.or.jp/yhindex.htm>



医局長・泌尿器科主任部長
田中 学

ぐいめくわし

地方病院の医師不足や勤務医の偏在など、医療に関する問題がマスコミで取り上げられることが多くなってきました。ときには『コンビニ受診』・『医療の崩壊』など刺激的なキーワードまで登場しています。

全国の医師の数は増えているのに、なぜ地方では医師不足なのか。大きな要因は、2004年度から義務づけられた新卒医師の臨床研修必修化にあると指摘されています。この制度は、将来の専門分野に関わらず、一般的な病気やケガに適切に対応できるように、研修医に基本的な能力を身につけてもらうことを目的としています。

以前は、大学を卒業した研修医の約7割を大学病院が受け入れていました。が、新制度では研修医と病院双方の希望によって研修先を決めるマッチング方式が採用されました。その結果、症例数が多く、最新機器や医療スタッフのそろった（そして息抜きもしやすい？）都市部の病院に人気が集まり、専門性が高く業務の多い大学病院内の研修医の激減が生まれました。広島大学病院では、かつては120名いた研修医が、来年度は70名を割るかもしれないとのこと。

これまで地方へ医師を派遣していた大学病院は人手不足のために、派遣病院から医師を引き揚げざるを得なくなり、地方の医師不足を招いたわけです。

これらの影響が全国的に顕著に出ているのが、産科、小児科であることは、皆様ご存知の通りかと思えます。『勤務が激務』・『患者が医療過誤を訴える訴訟リスクが高い』といった理由で、な

り手が減っていることも医師不足を助長しています。

では、このような状況によって、当院がどのような影響を受けているのかと考えますと、眼科の非常勤化や夜間休日の小児科診療休止といった形でとどまっているように思われます。

しかし現場では、さらに多方面の大きな影響を受けているというべきかもしれません。私が当院に赴任した3年前と比べると、常勤医師数は34名から現在29名と5名減。特に、24時間365日ほぼ常駐する形で当院の屋台骨を支える内科常勤医は9名から6名に減っています。非常勤医師の増員によってマンパワー不足を補い、日常診療を行っているのが現状ですが、夜間休日の年間5400件（そのうち救急車800件余、緊急入院700件余）に及ぶ時間外診療が、常勤医の肩に重くのしかかっているのは疑いのない現実です。と書きますと『勤務医の疲弊』と大げさに聞こえる言葉が頭をよぎりますが、当院に無縁と

は言いきれないのかもしれませんが。

とはいえ、地域になくはならない病院として、いつときも足踏みは許されたいことは言うまでもありません。個々の専門、経験、モチベーションなど様々ではあります。医局一同なんとか力を合わせて乗り切っていきたい、そしてさらに医療の質を高め、地域医療に最善を尽くしていきたいと思っております。そのためにも、医師のみならず全ての職員のがんばりと、安芸高田市医師会の先生方のご指導、ご鞭撻も欠かせないものと考えます。今後ともよろしくお願い致します。





医師紹介



よろしく
お願いします

患者様、御家族の視点に立って、ていねいな診療を心がけたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。



内科医師
漆谷 成悟
(うるしだに せいご)

外来はまだ経験がなく、しばらくはご迷惑をおかけすることになるかもしれませんが、そのかわり、急患や急変に対しては研修医の時に相当経験を積んだので、それなりに働けるかと思っております。



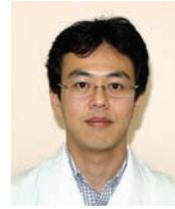
内科医師
清原 大輔
(きよはら たいすけ)

外科および透析で皆様のお役に立てればと思います。どうぞよろしくお願いたします。



外科医師
御厨 美洋
(みくりや よしひろ)

専門は肝臓ですが、こちらでは全領域に対応したいと思っております。



外科部長
満田 裕
(みつた ひろし)

多くの症例を真剣にとりくみ、地域の人々に親しまれる医療を行えるように努力します。よろしくお願いたします。



整形外科医師
古田 太輔
(ふるた たいすけ)

これまでは大学病院で膝関節外科を主に勉強してきました。県北の膝で困っておられる患者様に自分の知識が生かせればと思っております。宜しくお願いたします。



整形外科部長
本山 満
(もとやま みつる)



これからも、各部署各部門での専門性を大いに発揮して、ますます医療のレベルアップに繋がることを願っています。

平成20年2月21日、第25回院内学会を開催しました。忙しい勤務の中で疑問に感じていたことを検証したのもや、仕事の実情をまとめこの機会にとアピールするもの、感染委員からの啓蒙的な発表など、7題とも日頃の研究

や業務改善に取組まれた力作揃いでした。発表を聞きながら、知らない部分での隠れた努力に感動したり、そういう工夫もあるのかと取り入れる事を考えたり、また自分でも何か研究して発表してみようかと思われた方も多いかと思えます。



第25回 院内学会報告

特定健診・特定保健指導について

特定健診・特定保健指導における メタボリックシンドロームの判定基準

■内臓脂肪型肥満

腹囲 男性85cm以上 (内臓脂肪面積
女性90cm以上 (男女とも100cm²以上に相当))

+ 上記に加え、以下のうち2項目以上が該当
(1項目が該当の場合は予備群)

■高血糖

空腹時血糖 100mg/dl以上(またはHbA1cが5.2%以上)

■脂質異常

中性脂肪 150mg/dl以上
かつ/または HDLコレステロール40mg/dl未満

■高血圧

収縮期血圧 130mmHg以上
かつ/または 拡張期血圧85mmHg以上

メタボリックシンドローム

※喫煙習慣も関連リスクとしてカウントされます。

特定健診・特定保健指導の判定基準により、
リスクに合わせて保健指導

リスクが重なりだした段階

積極的支援

健診判定の改善に向けて、継続的に実行できるような支援がなされます。

リスクが出現しはじめた段階

動機づけ支援

自分の生活習慣の改善点や実践していく行動などに気づき、自ら目標を設定し、行動にうつすことができるような支援がなされます。

メタボリックシンドロームのリスクなし

情報提供

健診結果から今の健康状態を把握し、健康な生活を送るための生活習慣の見直しや改善のきっかけとなる情報が提供されます。非該当者だけでなく、全員に実施されます。

生活習慣病は日本人の死因の約6割を占め、食生活の乱れや運動不足などの日常生活の悪い習慣が原因となって発症します。また、自覚症状が出にくいために知らず知らずのうちに進行します。

4月から始まる「特定健診・特定保健指導」は、40歳から74歳の方を対象に、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の状態にある方や、その予備群となっている方を選び出します。

メタボリックシンドロームは、内臓肥満に加え、高血糖・高血圧・脂質異常という危険因子を2つ以上持っている状態をいいます。内臓肥満の判定のために、新たに追加されたのが「腹囲測定」です。男性85cm以上・女性90cm以上でリスク判定されます。

メタボリックシンドロームの状態になると、動脈硬化が急速に進み、糖尿病をはじめ、心臓病や脳卒中など循環器系の合併症にもつながりやすくなります。

そこで、健診受診者には生活習慣病の発症リスクから、「情報提供」「動機づけ支援」「積極的支援」の3つのグループごとに保健指導が行われます。

「動機づけ支援」「積極的支援」に該当する方は、生活習慣を改善するための目標を設定し、実践できるよう「特定保健指導」で支援していきます。(JA吉田総合病院健康管理センター)

広島県農村医学研究会に参加して

第30回広島県農村医学研究会が平成20年2月23日(土)、広島市のJAビルにて開催されました。通常総会、静岡国立立大学大学院経営情報学研究所教授 小山秀夫先生による特別講演の後、会員による研究発表が行われました。

今回の研究発表は、広島、尾道、府中、吉田の4病院から12題、内3題が当院からのエントリでした。医師、看護師、リハビリテーション科、薬剤師などさまざまな職種が集まり、それぞれの視点からの症例報告や研究発表はとても興味深いものでした。

私も演者として「薬剤管理指導業務」について存知ですか?「医薬品安全使用と経営視点からの報告」という演題で発表させていただきました。患者様に安全でより質の高い医療を提供できるよう薬剤部で取り組んできた様々な業務を報告することに、他の職種の方々にも少なりのともご理解いただけたかと思っております。

また、当院から2題、最優秀者に選んでいただき、旅行券(10万円分)を頂きました。今回の発表にあたり協力してくれた薬剤部の仲間とこのうれしさを分け合いたいと思います。

(薬剤部 竹増 まゆみ)

当院の基本理念

- ① 私たちは何人にも平等に医療を提供します。
- ② 私たちは地域の基幹病院として、最良の医療を提供します。
- ③ 私たちは納得と同意のもとに信頼される医療を提供します。

当院の基本方針

- ① やさしい心で安全・良質な医療・保健・福祉サービスを提供します。
- ② 医療を受ける人びとの人格、権利を尊重し、全ての人に貢献します。
- ③ 生涯学習の精神を保ち、知識と技術の習得に努めるとともに、医療の質向上に尽くします。
- ④ 努力と協調で健全経営に努め、明るい職場をつくります。
- ⑤ 病院の公共性を重んじ、事業を通じて地域に尽くすとともに、法規範を遵守します。

吉田総合病院 診療案内

受付時間 月曜～金曜 8:30～11:30

2008年4月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1 診	行武正伸	藤村憲崇	藤村憲崇	循環器(隔週)	
	2 診	池上義彦	鼻岡新治	川本雅英	池上義彦	川本雅英
	3 診	清原大輔	漆谷成悟	鼻岡新治	漆谷成悟	大西真由
	4 診	白川寛夫		佐藤友紀	佐藤友紀	清原大輔
	新患外来	佐藤友紀	池上義彦		川本雅英	鼻岡新治
	腹部エコー	鼻岡新治	佐藤友紀	池上義彦	清原大輔	漆谷成悟
	胃内視鏡	川本雅英	川本雅英	漆谷成悟	鼻岡新治	池上義彦
※循環器：藤村(火・水)、木曜日は(非常勤で月2回予定)						
* 小児科	午前外来受付	広大医師	広大医師	広大医師	三次中央病院医師	広大医師
	午後外来受付 (14:00～15:30) ★予約制	慢性疾患 外来	乳幼児健診 (～15:00) BCG・予防接種 (15:00～)	慢性疾患 外来	慢性疾患 外来	予防接種 (BCG以外)
一般外来(予約制) ※必ず事前に電話にて予約をお願いします。						
外科	1 診	住元一夫	繁田直史	児玉真也	丹治英裕	住元一夫
	2 診	丹治英裕	児玉真也	満田裕	繁田直史	繁田直史
	3 診	満田裕	御厨美洋	澤田紘幸	満田裕	児玉真也
	4 診	澤田紘幸				御厨美洋
肛門外来 受付時間：月～金 8:30～11:30 (児玉)						
外脳神経科	1 診	沖井則文	沖井則文	沖井則文	沖井則文	沖井則文
※神経内科 第2・第4月曜日：伊藤 聖						
整形外科	1 診	竹本正瑞	定地茂雄	竹本正瑞	杉田直樹	竹本正瑞
	2 診	定地茂雄	杉田直樹	杉田直樹	本山満	定地茂雄
	3 診	古田太輔	本山満	本山・古田		古田太輔
眼科	1 診	調枝寛治		板倉勝昌		板倉勝昌
※午前中のみ受付 (10:30まで)						
* 耳鼻咽喉科	1 診	佐藤克至	佐藤克至	佐藤克至	佐藤克至	佐藤克至
	2 診	非常勤医師	非常勤医師	非常勤医師	非常勤医師	非常勤医師
	午後	予約外来(1診のみ)	手術	一般外来(1診・2診)	検査・手術	手術
※午前外来受付(月・水・木) 11:30まで(火・金) 11:00まで ※午後外来受付(水曜日のみ) 14:00～15:30まで						
* 婦人科	1 診	岩沖靖久	岩沖靖久	岩沖靖久	岩沖靖久	岩沖靖久
	午後			一般外来		
※午後外来受付(水曜日のみ) 13:30～15:30						
* 泌尿器科	1 診	田中学	田中学	田中学	田中学	田中学
	午後					一般外来
※午後外来受付(金曜日のみ) 14:00～15:30						
* 皮膚科	1 診	文明徳	文明徳	文明徳	文明徳	文明徳
	午後	一般外来	手術	一般外来	一般外来	手術
午後外来受付(月・水・木) 14:00～15:30						
神経科神	1 診	萬谷昭夫(初診・再診)	萬谷昭夫(再診)	萬谷昭夫(初診・再診)	樽本尚文(初診・再診)	樽本尚文(再診)
	2 診	樽本尚文(再診)	住吉秀律(初診・再診)	住吉秀律(再診)		住吉秀律(初診・再診)
※再診の方は予約をお取りください。						
* 麻酔科	ペインクリニック	田村秀樹		田村秀樹		田村秀樹
	術前診察	田村秀樹		田村秀樹		田村秀樹

*印は午後外来診察あり。